

大柴拓 尾花毅

guitar

guitar

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **03月20日(土)**

開場 17:30 night live

開演 18:00

(90分 1ステージ 小休止有) (1drink=600円~)

MC=3000円 +2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



大柴拓

ギタリスト・作曲家・グラフィックデザイナー。1985年、神奈川県平塚市出身。同県立弥栄東高校(現:弥栄高校)音楽コースを経て、東京音楽大学(クラシックギター専攻第1期生)を卒業。2007年に最初の主宰バンド『Trio Mono』を結成。以降、『Citrontriple』、『キンテートモダン東京』、『IROSEPTET』、『大柴拓カルテット』の主宰をはじめ、他にも常に数多くの企画を抱え、極めて精力的に活動。2018年3月には『大柴拓 Ensemble para furores』を立ち上げ、演奏家に役者も加えた全11人の大編成で新作“音楽劇”の製作・初演を超満員にて成功させる。さらに2017年には自身初となるデザイン個展も開催するなど、音楽だけに留まらない現在最も活動的な若手アーティストの1人として注目されている。

公式 URL <http://www.taku-oshiba.com>

尾花毅

1967年神奈川県平塚市に生まれる。幼少期をドイツで過ごし8歳からクラシックギターを始める。帰国後は、ロックに目覚め、自身のオリジナル曲を演奏するプログレッシブハードロックバンドで活動する。大学を卒業する頃、トニーニョオルタの弾くギターに魅せられ、ブラジル音楽に没頭する。2005年頃から7弦ギターを使用し始め、それ以降ショーロにおける7弦ギターの奏法をベースとした独自のスタイルを確立させる。THEシャンゴーズ、SonDeCriebe、Grupo Cadencia、サンバオペラ等のグループに参加している他、様々なソリストの伴奏やセッションで年間150本程度のライブを行っている。